

## 様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習等の時期 基礎免許状の教育実習は3年後期に、特別支援学校教育実習は4年前期に実施する。
②	教育実習等の実習期間・総時間数 特別支援学校 2週間（60時間）
③	<p>実習校の確保の方法</p> <p>実習年次の前年度となる3年次の教育実習内諾説明会（5月開催）において、4年次に行う教育実習の内諾を取り交わすための書類等について説明を行い、夏休み期間を活用して実習希望校へ出向くよう指導する。</p> <p>教育実習年度の4月に内諾書に基づき正式承諾依頼書を実習校へ送付し、返送された承諾書に記載されている教育実習期間を本人に通知するとともに、事前打合せ等の日程についても学生へ伝達する。北九州市内または北九州近隣の実習校で教育実習を行う学生に対しては、承諾書の内容を基に、事前予約のうえ再度実習校を訪問させ、承諾のお礼と教育実習の打合せを行うよう指導し、遠方の実習校で教育実習を行う学生に対しては電話でお礼を告げるとともに、実習の直前打合せ日程等の調整を図るよう指導する。</p> <p>教育委員会を經由して教育実習の手続きを行う場合は、各都道府県、市町村のルールに従い教務課で手続きを行い、その進捗について逐次学生と情報共有を図る。</p>
④	<p>実習内容</p> <p>2週間（60時間）の実習内容内訳</p> <p>授業観察（30時間）3時間/日×5日×2週間</p> <p>授業観察後の指導担当者による技術指導（5時間）0.5時間/日×5日×2週間</p> <p>授業担当（5時間）2週間のうち5時間</p> <p>授業実施後の指導担当者との授業反省会（5時間）1時間×5回</p> <p>研究授業（1時間）</p> <p>研究授業評価会議（3時間）</p> <p>学級経営への参加（5時間）0.5時間/日×5日×2週間</p> <p>放課後の総合的研究指導（6時間）</p>
⑤	<p>実習生に対する指導の方法</p> <p>教職課程を履修する意義や、教育実習に臨むうえでの自己管理責任の重要性、社会的責任、教師としての心構え等に関して、教職ガイダンスや教職課程の授業を通じ教師としての自覚を促すと同時に、特別支援教育に携わるうえでの障害の種類、障害の病理、心理、生理等について理解させる。</p> <p>また、特支一種の取得に際しては、中一種・高一種（保健体育）の免許取得ができて初めて有効となることを説明し、中一種（保健体育）、高一種（保健体育）の取得に係る単位数に加え、29単位を修得することとなるため、中途半端な資格取得の気持ちで臨むことのないようガイダンスや毎回の授業において説明をする。</p>

⑥ 実習の成績評価（評価の基準及び方法）

教育実習の評価は、学生が教育実習時に持参する「教育実習日誌」に綴じ込みの評価表により、実習校担当教諭が評価を行う。

大学は、その評価を基に、大学での授業態度、教職に対する意欲等を総合的に判断し、以下の基準で成績評価を実施する。

- 秀 100～90 点
- 優 89～80 点
- 良 79～70 点
- 可 69～60 点
- 不可 59 点以下（不合格）

2 事前及び事後の指導の内容等

① 時期及び時間数

特別支援学校教育実習事前事後指導

教育実習前年度の後期 26 時間

教育実習終了後の後期 4 時間

② 内容（具体的な指導項目）

【事前指導内容】

- (1) 特別支援学校における教育実習の意義と心構え、その目標を明確にする
- (2) 特別支援学校の概要とサービスについて理解する
- (3) 特別支援学校での授業および児童生徒への支援を理解する
- (4) 学習指導案の書き方、個別の指導計画について再確認する
- (5) 自立活動の指導における個別の指導計画の作成と内容の取扱いを理解する
- (6) 模擬授業①
- (7) 模擬授業②
- (8) 模擬授業③
- (9) 模擬授業の振り返り
- (10) 総括～人権教育

【事後指導内容】

- (1) 事後レポートを作成し、指導担当教員への実習終了報告
- (2) 各人の教育実習時の体験を他の実習生を前に発表し評価しあう
- (3) 個人の体験、他の実習生の体験、両者を含め今回の実習のまとめと反省を行う
- (4) 指導担当教員との事後面談
- (5) 教職認識の形成深化と実習体験に基づく教職専門性の再認識

③ 教育実習等におけるハラスメントの防止等に関する学生への指導（相談窓口の周知を含む）及び学内の相談体制等について

本学では『教育実習の手引（教育実践ガイド）』を毎年発行しており、当該冊子においてセクシャルハラスメント、パワーハラスメントに関する内容を記載し、実習先における想定されるハラスメント内容を具体的に示している。スクールセクシャルハラスメントは①「教員から児童生徒」、②「教員から保護者」、③「教員同士」、④「児童生徒同士」が想定されており、特に①について注意が必要とし、性的な事柄を話題にする、容姿について話題にする、体に触れる行為、ジェンダーハラスメントについて解説している。

また、パワーハラスメントについては、教員の立場を利用した行為、児童生徒の心を傷つける誹謗・中傷・暴言、児童生徒が精神的な苦痛を感じる行動、児童生徒の学習を妨げる行為について具体例を挙げて解説している。

この『教育実習の手引（教職実践ガイド）』を活用し、実習校へ内諾依頼に出向く前の説明会時や、教育実習事前指導、生徒進路指導論等の日常の教職課程科目において、十分な指導を行っている。

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

・ 委員会等の名称

九州共立大学教職課程委員会

・ 委員会等の構成員（役職・人数など）

(1) 教務部長

(2) 教務副部長

(3) 経済・経営学科、スポーツ学科および子どもスポーツ教育学科の教科専門科目の担当者から学長が推薦する教育職員各 1 名

(4) 教職専門科目の担当者から学長が推薦する教育職員 若干名

(5) 教務課長

(6) その他学長が必要と認めた職員 若干名

・ 委員会等の運営方法

(1) 全学的な教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関する事項

(2) 教職課程に係る教育課程の編成及び教員組織に関する事項

(3) 学生の教育実習等に関する事項

(4) 教職課程の学生に係る学修成果の集約、分析及び公開に関する事項

(5) 教職課程に係る情報公表に関する事項

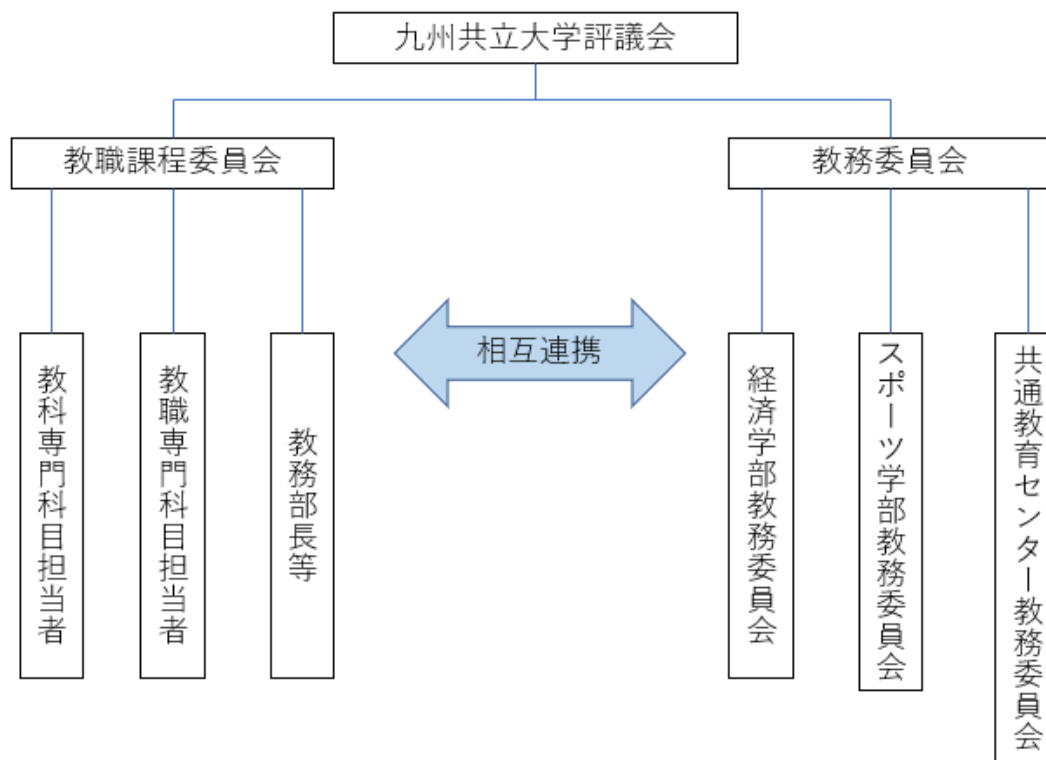
(6) 教職課程の学生に対する履修指導・進路指導等に関する事項

(7) 教職課程に係る FD・SD に関する事項

(8) 教職課程に係る自己点検・評価に関する事項

(9) その他教職課程に関する事項

## 【委員会の組織図】



② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

- 委員会等の名称

北九州地区大学教育実習連絡協議会

福岡県内および下関地区の大学、短期大学ならびに北九州市教育委員会で構成される。

加盟大学は、25 大学であり、本学もその組織の構成員である。

- 委員会等の構成員（役職・人数など）

北九州地区大学教育実習連絡協議会は、年に一度、各大学の教育実習が終了した 12 月に開催され、当該年度に生じた教育実習に関する課題点・問題点について共有する。

また、北九州市立学校の校長会も本協議会に参加し、教育実習のあり方について学校長の立場から助言が行われる。

北九州地区大学教育実習連絡協議会への本学側の出席は、教職課程委員会委員と教務課職員で出席し、協議結果を教職課程委員会や事務局の会議の場で報告し、教職員間で問題意識の共有を図っている。

・ 委員会等の運営方法

【委員会の組織図】

北九州地区大学教育実習連絡協議会

北九州市教育委員会

北九州市立学校校長会

加盟大学 25 校

4 教育実習の受講資格

- ①基礎免許となる中一種（保健体育）、高一種（保健体育）を取得するための「教育実習履修に関する申合せ」に定められた要件を満たすこと。
- ②2年終了までに、特別支援教育に関する第1欄「特別支援教育の基礎理論に関する科目」および第2欄「特別支援教育領域に関する科目」から、2年後期までに開講される科目（9科目）のうち8科目以上を修得済みであること。
- ③2年終了までの全履修科目の通算 GPA が 2.0 以上であること。
- ④3年後期に開講する「視覚障害教育総論」、「聴覚障害教育総論」、「重複障害教育総論」を修得し、「特別支援学校教育実習事前事後指導」の事前指導に参加し、その内容をすべて学修している。

5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	特別支援学校 小学部 148 学級、中学部 80 学級、高等部 97 学級	
○	×	教育委員会名	北九州市教育委員会	特別支援学校：8校

※現時点で実習校を確定することは困難であり、個別の学校名は明記できない。

## 実習受入承諾書

令和7年2月12日

九州共立大学

学長 奥田 俊博 殿

北九州市教育委員会

北九州市立教育センター

所長 砂田 剛志

九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科において、特別支援学校の教員免許状授与の  
所要資格を得させるための課程認定を受けた際には、特別支援学校において実習生を受け  
入れることを承諾します。

ただし、教育実習生全体の調整を図るため、現時点で実習校を確定することは困難であり、  
個別の学校名は明記できない旨、ご了承ください。

記

北九州市立特別支援学校の総数 8校

(小学部 148 学級、中学部 80 学級、高等部 97 学級)

以上